

PLCopen Japan **技術委員会発足について**
(趣意書)

2003年 5月 23日
PLCopen Japan
チェアマン 宮澤以鋼
技術委員会 今井博美

1. はじめに

IEC 61131規格に基づくプログラマブルコントローラ(PLC)は欧州を初め世界的な普及が進んでおり、日本においても同規格のJIS版であるJIS B 3501、JIS B 3502、JIS B 3503が国土交通省の電気設備工事標準に2001年度に採用され、普及期を迎えつつあります。この機会を捉え、東芝、富士電機、松下電工、横河電機(50音順)の4社は現在活動を停止しているPLCopen Japanの業務を引き継ぎ、日本におけるIEC 61131の普及促進活動を2002年12月より開始しました。PLCopen Japanの活動は、PLCのプログラミングの国際標準規格であるIEC 61131-3の普及・促進で、産業オートメーション分野の合理化・発展に寄与することを目的とします。

一方IEC 61131-3の普及においては、PLCプログラムのポータビリティや再利用、国内での認証体制の確立などの取り組みが必要です。このうちプログラムのポータビリティについては、特にLD(ラダーダイアグラム)、FBD(ファンクションブロックダイアグラム)、SFC(シーケンシャルファンクションチャート)など非テキスト系言語の取り扱いが課題であり、PLCopen 欧州本部では新たな技術委員会(TC6)でXMLを利用した取り組みがFBDを中心に始まりました。

PLCopen Japanでは、これら技術課題への取り組みを特に国内普及の観点から検討・解決すべく技術委員会を発足させることにしました。PLCopen Japanの参加団体・会社で、この分野の推進および興味をおもちの方のご参加をお願いいたします。

2. 活動の目的

技術委員会のミッションは以下 1) 2) ですが、**今回の募集対象は 1)が主体です。**

1)標準化の推進

- ・ LD、FBD、SFCなど非テキスト言語についてのXMLなどを使った標準化、ポータビリティ化等の研究
- ・ テキスト言語 IL (インストラクションリスト)、ST(ストラクチャードテキスト)のライブラリーの構築

2)国内認証体制の確立

神奈川県産業技術総合研究所による認証体制構築を計画中です。

3. 活動内容

- 1) LD、FBD、SFCのXMLによる表記の調査と実装(活用)研究(LDをポイントに)
- 2) ポータビリティ化の研究・PLCプログラミングツールとの関係及び市販グラフィカルツールの利用検討
- 3) テキスト系言語ライブラリー検討と提供法の構築
- 4) ポータビリティ化の実装と評価・各成果の提供
- 5) ライブラリーの提供と拡充

4.参加資格と参加者募集

1)参加資格は、PLCopen Japanの会員である団体 会社のメンバーとします。

2)参加者の募集は、5月末から開始します。

参加希望者は、主催事務局 < E-mail : info@plcopen-japan.jp > に次の項目を連絡
ください。

・メールタイトル PLCopen Japan 技術委員会
・ご氏名：
・所属団体、会社 部署名：
・メールアドレス：
・電話番号：
・住所、郵便番号：

5.主催者、事務局等

次の通りとします。

- 1) 主催 PLCopen Japan < 末尾参照 >
- 2) 技術委員会運営 技術委員会委員長が兼任
- 3) 会議場所 東芝本社 (浜松町) 富士電機本社 (大崎) 松下電工汐留本社 (新橋) 横河電機本社 (三鷹) などの会議室を利用予定
- 4) 参加費用 無料 (会議時の資料等は電子メール等で事前交換し、印刷物は参加者持参とします。)

6.当初の予定

- 1) 参加者募集 5月末～6月中旬
- 2) 初回委員会開催 6月下旬～7月上旬
- 3) 今後の活動内容、日程 初回委員会にて決定
当初はPLCopen TC6(XML)の活動 技術資料の検討から始める予定

PLCopen Japanの組織及び事務所 (詳細はホームページを参照ください。)

1.組織は非営利任意団体とし、1名のチェアマンと4社で構成する幹事会及び幹事会を代表する代表幹事で運営します。

・チェアマン: 宮澤以鋼 (神奈川県産業技術総合研究所)

・幹事会社: 東芝、富士電機、松下電工、横河電機 (50音順)

・代表幹事: 川島重雄 (富士電機)

2 .PLCopen Japan の事務所は、「東京都品川区大崎 1-11-2 (富士電機株式会社内)」です。

・ホームページ <http://www.plcopen-japan.jp>

・E-mail info@plcopen-japan.jp

・FAX No . 03-5435-7462

以上